

結 果 の 概 要

1 入職と離職の推移

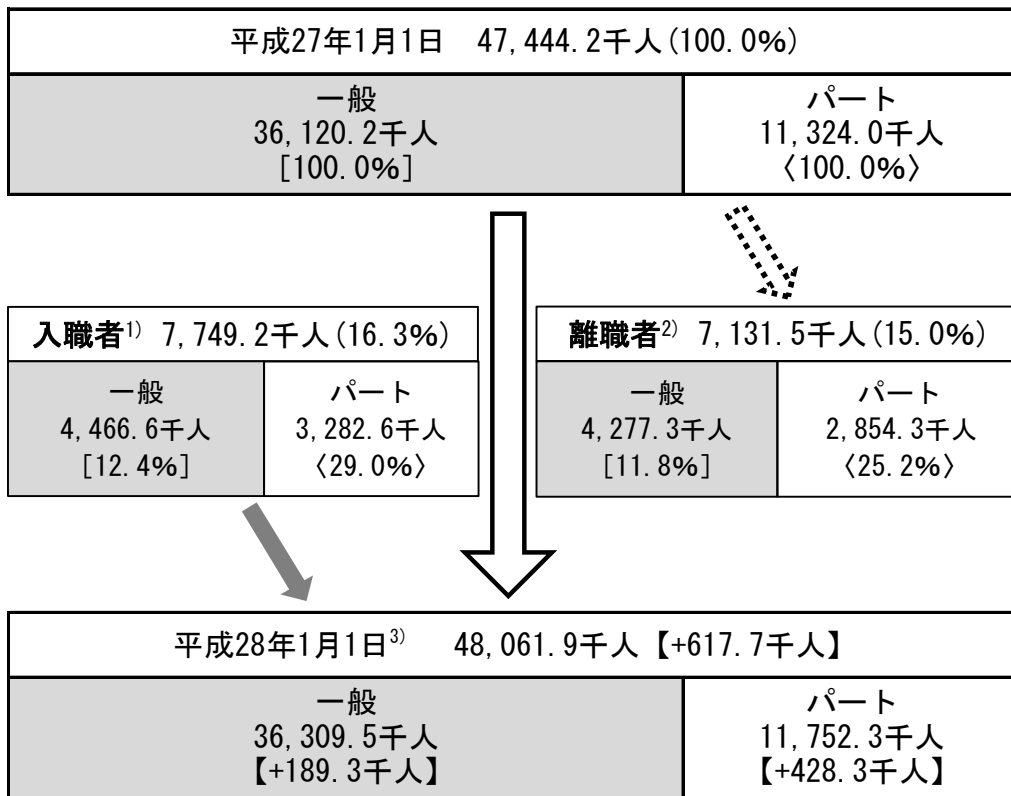
(1) 平成 27 年の常用労働者の動き

平成 27 年 1 年間の入職者数は 7,749.2 千人（年初の常用労働者数に対する割合 16.3%）、離職者数は 7,131.5 千人（同 15.0%）であった。差引 617.7 千人の増加となっている。

なお、これには、事業所の新設や閉鎖等に伴う労働者数の増減が含まれない。

就業形態別にみると、一般労働者は、入職者数 4,466.6 千人（年初の一般労働者数に対する割合 12.4%）、離職者数 4,277.3 千人（同 11.8%）で差引 189.3 千人の増加となっている。パートタイム労働者は、入職者数 3,282.6 千人（年初のパートタイム労働者数に対する割合 29.0%）、離職者数 2,854.3 千人（同 25.2%）で差引 428.3 千人の増加となっている。（図 1、付属統計表 1-1、付属統計表 1-2）

図 1 平成 27 年の常用労働者の動き



注：（）、[]、<>内はそれぞれ平成 27 年の年初の常用労働者数、一般労働者数、パートタイム労働者数に対する割合である。

【 】内は平成 27 年の年初の常用労働者数（一般労働者数、パートタイム労働者数）に対する増減差である。

- 1) 入職者には、事業所の新設等に伴う労働者増加を含まない。
- 2) 離職者には、事業所の閉鎖等に伴う労働者減少を含まない。
- 3) 平成 28 年 1 月 1 日の常用労働者数は平成 27 年に事業所の新設や閉鎖等がなかったと仮定したときの推計労働者数である。

(2) 入職率と離職率の推移

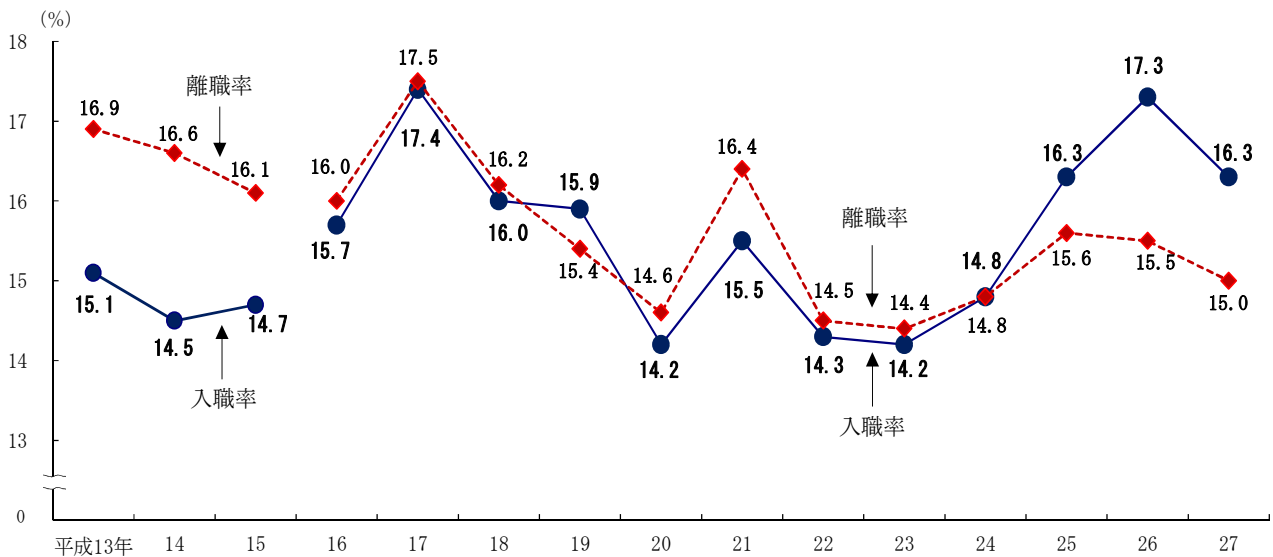
平成27年1年間の入職率(年初の常用労働者数に対する入職者数の割合)は16.3%(前年17.3%)、離職率(年初の常用労働者数に対する離職者数の割合)は15.0%(同15.5%)となっている。

前年と比べると、入職率が1.0ポイント、離職率が0.5ポイント低下したものの、入職超過率は1.3ポイントと、比較可能な平成16年以降最も大きかった平成26年の1.8ポイントに次ぐ大きさとなった。

性別にみると、男性の入職率が13.5%(同14.0%)、離職率が13.0%(同13.2%)、女性の入職率が20.0%(同21.6%)、離職率が17.7%(同18.5%)、就業形態別にみると、一般労働者の入職率が12.4%(同13.0%)、離職率が11.8%(同12.2%)、パートタイム労働者の入職率が29.0%(同29.9%)、離職率が25.2%(同25.1%)で、いずれも入職超過となっている。

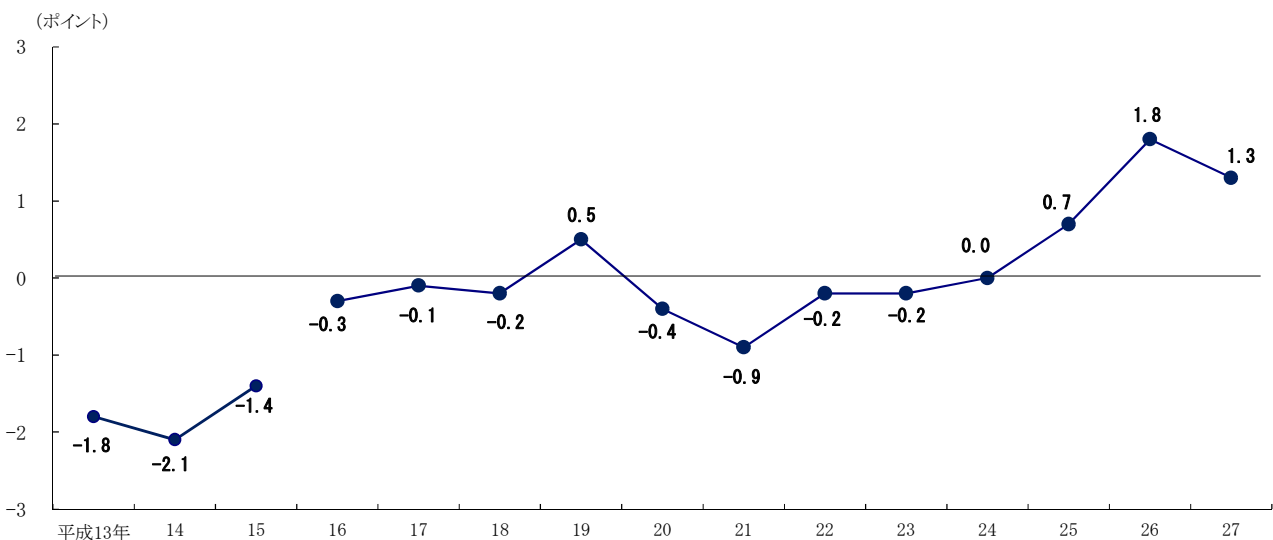
前年と比べると、男性、女性いずれも入職率、離職率ともに低下した。また、一般労働者は入職率、離職率ともに低下し、パートタイム労働者は入職率が低下し、離職率はほぼ横ばいであった。(図2-1、図2-2、図2-3、図2-4、付属統計表1-2)

図2-1 入職率・離職率の推移



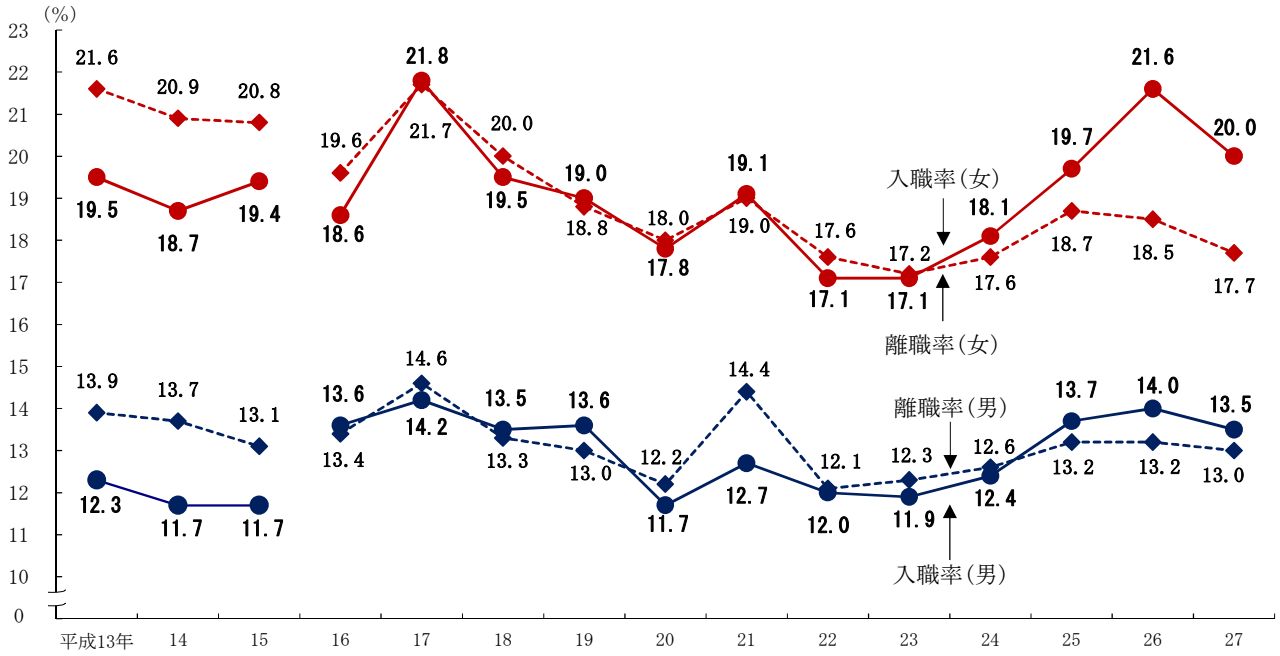
注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意2を参照。

図2-2 入職超過率の推移



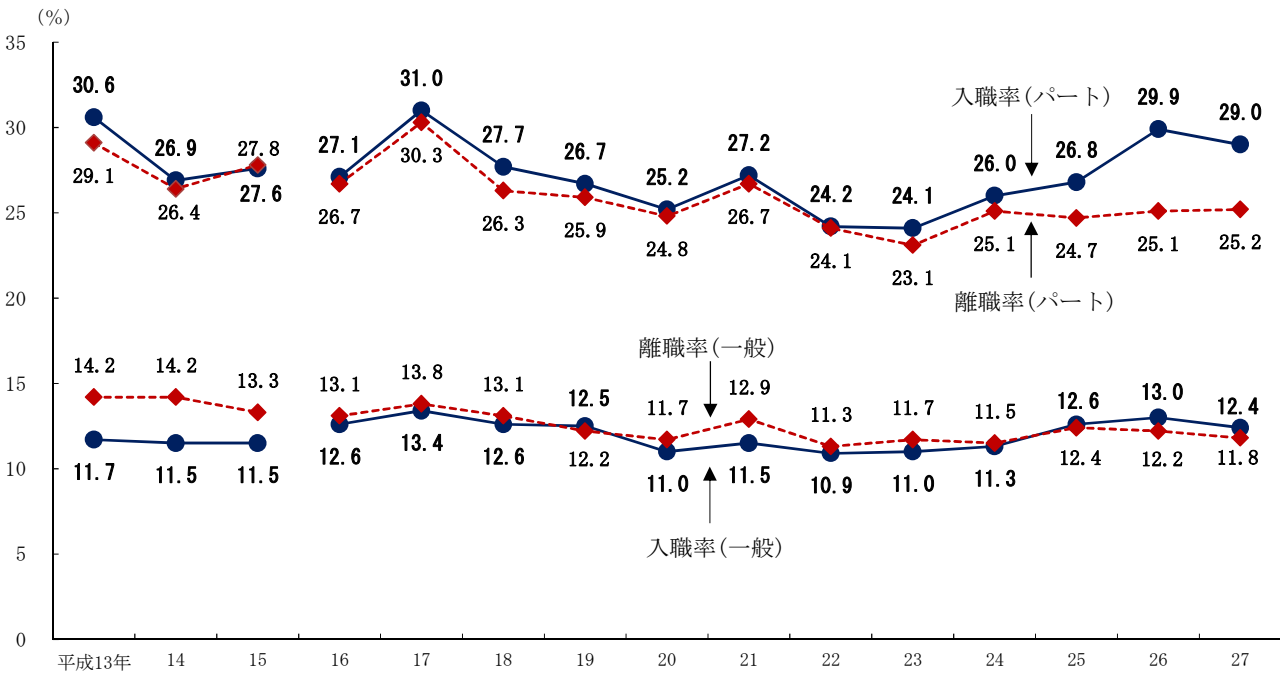
注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意2を参照。

図 2-3 性別入職率・離職率の推移



注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意2を参照

図 2-4 就業形態別入職率・離職率の推移



注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意2を参照。

(3) 雇用形態、就業形態別の入職と離職の状況

平成27年1年間の入職者数と離職者数を雇用形態別にみると、入職者数は「雇用期間の定めなし」が4,710.4千人（前年4,662.0千人）、「雇用期間の定めあり」が3,038.8千人（同3,316.4千人）、離職者数は「雇用期間の定めなし」が4,095.1千人（同4,004.1千人）、「雇用期間の定めあり」が3,036.5千人（同3,129.4千人）となっている。

さらに、就業形態別にみると、入職者数のうち「雇用期間の定めなし」では、一般労働者が3,187.5千人（同2,974.1千人）、パートタイム労働者が1,523.0千人（同1,687.9千人）、「雇用期間の定めあり」では、一般労働者が1,279.1千人（同1,478.6千人）、パートタイム労働者が1,759.7千人（同1,837.8千人）となっている。離職者数のうち「雇用期間の定めなし」では、一般労働者が3,076.3千人（同2,906.3千人）、パートタイム労働者が1,018.8千人（同1,097.7千人）、「雇用期間の定めあり」では、一般労働者が1,201.0千人（同1,260.2千人）、パートタイム労働者が1,835.5千人（同1,869.2千人）となっている。

全体として入職者数は減少しているが、男女ともに「雇用期間の定めなし」の一般労働者の入職者数は増加（男女計213.4千人、男性86.2千人、女性127.1千人）している。（表1-1、表1-2、表1-3）

表1-1 雇用形態、就業形態別移動状況（男女計）

(単位：千人)

区分		計	雇用期間の定めなし			雇用期間の定めあり		
			計	一般労働者	パートタイム労働者	計	一般労働者	パートタイム労働者
平成27年	入職者数	7,749.2	4,710.4	3,187.5	1,523.0	3,038.8	1,279.1	1,759.7
	離職者数	7,131.5	4,095.1	3,076.3	1,018.8	3,036.5	1,201.0	1,835.5
平成26年	入職者数	7,978.5	4,662.0	2,974.1	1,687.9	3,316.4	1,478.6	1,837.8
	離職者数	7,133.5	4,004.1	2,906.3	1,097.7	3,129.4	1,260.2	1,869.2
前年差	入職者数	-229.3	48.4	213.4	-164.9	-277.6	-199.5	-78.1
	離職者数	-2.0	91.0	170.0	-78.9	-92.9	-59.2	-33.7

表1-2 雇用形態、就業形態別移動状況（男）

(単位：千人)

区分		計	雇用期間の定めなし			雇用期間の定めあり		
			計	一般労働者	パートタイム労働者	計	一般労働者	パートタイム労働者
平成27年	入職者数	3,646.4	2,368.3	1,856.0	512.3	1,278.0	680.5	597.6
	離職者数	3,503.1	2,136.9	1,791.4	345.5	1,366.2	675.3	690.9
平成26年	入職者数	3,621.2	2,251.0	1,769.8	481.2	1,370.2	735.3	634.9
	離職者数	3,417.6	2,051.6	1,755.5	296.1	1,366.1	709.6	656.4
前年差	入職者数	25.2	117.3	86.2	31.1	-92.2	-54.8	-37.3
	離職者数	85.5	85.3	35.9	49.4	0.1	-34.3	34.5

表1-3 雇用形態、就業形態別移動状況（女）

(単位：千人)

区分		計	雇用期間の定めなし			雇用期間の定めあり		
			計	一般労働者	パートタイム労働者	計	一般労働者	パートタイム労働者
平成27年	入職者数	4,102.9	2,342.1	1,331.4	1,010.7	1,760.8	598.7	1,162.1
	離職者数	3,628.4	1,958.1	1,284.9	673.2	1,670.3	525.7	1,144.6
平成26年	入職者数	4,357.3	2,411.1	1,204.3	1,206.8	1,946.3	743.3	1,202.9
	離職者数	3,715.9	1,952.5	1,150.9	801.6	1,763.4	550.6	1,212.8
前年差	入職者数	-254.4	-69.0	127.1	-196.1	-185.5	-144.6	-40.8
	離職者数	-87.5	5.6	134.0	-128.4	-93.1	-24.9	-68.2

(4) 職歴別入職者数、入職率の状況

平成27年1年間の入職者数を職歴別にみると、転職入職者数は5,028.1千人(前年5,036.3千人)で、転職入職率が10.6%(同10.9%)、未就業入職者数は2,721.1千人(同2,942.2千人)、未就業入職者数のうち、新規学卒者は1,249.9千人(同1,321.2千人)で、未就業入職率が5.7%(同6.4%)となっている。

前年と比べると、転職入職率は0.3ポイント、未就業入職率は0.7ポイント低下した。

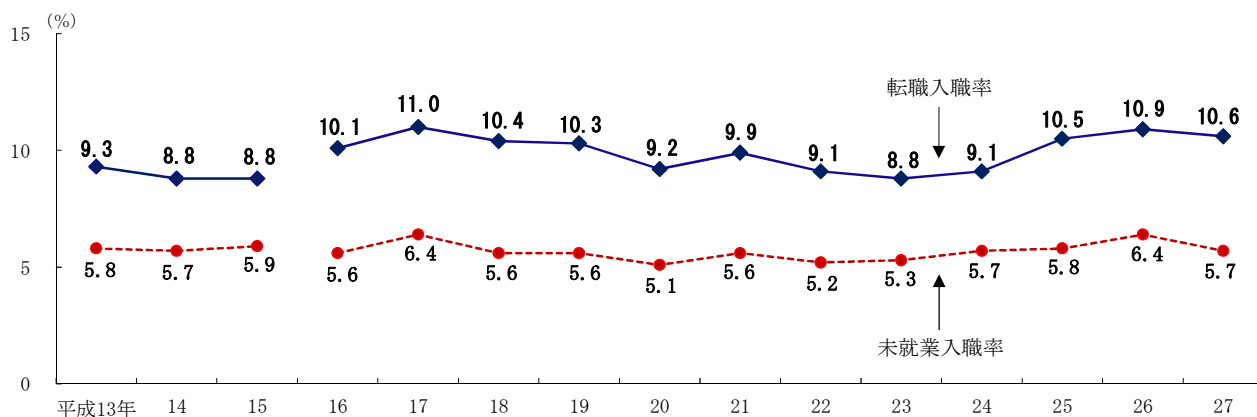
男女別にみると、男性は転職入職者数が2,437.3千人(同2,386.8千人)、未就業入職者数が1,209.0千人(同1,234.4千人)、未就業入職者数のうち、新規学卒者は624.0千人(同651.3千人)で、転職入職率は9.0%(同9.2%)と0.2ポイント低下、未就業入職率は4.5%(同4.8%)と0.3ポイント低下した。女性は転職入職者数が2,590.8千人(同2,649.5千人)、未就業入職者数が1,512.1千人(同1,707.8千人)、未就業入職者数のうち、新規学卒者は625.9千人(同669.9千人)で、転職入職率は12.7%(同13.2%)と0.5ポイント低下、未就業入職率は7.4%(同8.5%)と1.1ポイント低下した。転職入職率、未就業入職率ともに低下幅は女性の方が大きい。

就業形態別にみると、一般労働者は転職入職者数が3,083.9千人(同3,050.2千人)、未就業入職者数が1,382.7千人(同1,402.5千人)、未就業入職者数のうち、新規学卒者は931.5千人(同919.0千人)で、転職入職率は8.5%(同8.9%)と0.4ポイント低下、未就業入職率は3.8%(同4.1%)と0.3ポイント低下した。パートタイム労働者は転職入職者数が1,944.2千人(同1,986.2千人)、未就業入職者数が1,338.4千人(同1,539.6千人)、未就業入職者数のうち、新規学卒者は318.4千人(同402.2千人)で、転職入職率は17.2%(同16.8%)と0.4ポイント上昇、未就業入職率は11.8%(同13.0%)と1.2ポイント低下した。(表2、図3)

表2 性・就業形態、職歴別入職者数及び入職率

区分	転職入職者数 (千人)	未就業入職者数 (千人)	うち新規学卒者 (千人)	転職入職率 (%)	未就業入職率 (%)
平成27年					
計	5,028.1	2,721.1	1,249.9	10.6	5.7
男	2,437.3	1,209.0	624.0	9.0	4.5
女	2,590.8	1,512.1	625.9	12.7	7.4
一般労働者	3,083.9	1,382.7	931.5	8.5	3.8
パートタイム労働者	1,944.2	1,338.4	318.4	17.2	11.8
平成26年					
計	5,036.3	2,942.2	1,321.2	10.9	6.4
男	2,386.8	1,234.4	651.3	9.2	4.8
女	2,649.5	1,707.8	669.9	13.2	8.5
一般労働者	3,050.2	1,402.5	919.0	8.9	4.1
パートタイム労働者	1,986.2	1,539.6	402.2	16.8	13.0
前年差					
計	-8.2	-221.1	-71.3	-0.3	-0.7
男	50.5	-25.4	-27.3	-0.2	-0.3
女	-58.7	-195.7	-44.0	-0.5	-1.1
一般労働者	33.7	-19.8	12.5	-0.4	-0.3
パートタイム労働者	-42.0	-201.2	-83.8	0.4	-1.2

図3 職歴別入職率の推移



注：平成16年から調査産業の範囲が拡大しているため平成15年以前とは接続しない。3ページの利用上の注意2を参照。